



植民地期の狂気 —現代アフリカの精神障害を考えるためのプロローグ—



日時：2015年6月18日（木）17：00～
場所：学而館 2F 第3研究室

今回の「目の前のアフリカ」では、気鋭の政治学者、龍谷大学の落合雄彦教授をお招きします。『「植民地期の狂気（Colonial Madness）」は、「植民地精神医学（Colonial Psychiatry）」と表裏一体の関係にある。そして、それらは「植民地国家（Colonial State）」「植民地支配（Colonialism）」といった支配者側の力学だけではなく、「植民地闘争（Colonial Struggle）」といった被支配者側の抵抗の動態とも密接に関連していた。現代アフリカの精神障害を考えるためのプロローグとして、植民地期アフリカの狂気（精神障害）とそれをめぐる精神医学のありかたについて考える』。アフリカを目の前に近づけよう。

<プログラム>

- 17：00～17：10 趣旨説明・講師紹介
- 17：10～18：00 講演：落合雄彦（龍谷大学）
- 18：00～18：30 質疑応答

共催：日本アフリカ学会関西支部

問い合わせ先：立命館大学生存学研究センター

電話：075-465-8475 FAX：075-465-8245 E-mail: ars-vive@st.ritsumei.ac.jp

駐車スペースがありませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

